

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 トワエモア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1			身体を動かせる広いスペースはあると思うが、安全に配慮しつつ活動する。
	②	職員の配置数は適切である	6	2		崩れてしまうお子さまが多い時の他児への対応	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			室内はバリアフリーになっている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2	1	職員間で情報を共有している	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			初めての実施なので保護者からのご意見を踏まえて改善を検討させていただきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	2		初年度の評価のため今回より、システム内にて公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	2		施設内で評価を行い、改善に努める。将来的には第三者による評価、改善につなげていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		定期的に様々な研修を実施している。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		定期的にモニタリングやヒアリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		契約時に記入いただいている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	3		1人に任せっきりになっているため、支援員みんなで話し合い、活動プログラムを作れるようになる
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			発達段階や特性に合わせて、みんなのできるように工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		長期休暇期間中などには普段できないような活動を行うなど工夫している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		子どもの発達や特性に合わせて保護者からの意見を踏まえて、組み合わせている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6	1	1	偏りが出ないように、毎日確認を行い、内容の確認担当振り分けを行っている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	2	勤務終了時間に違いがあるため、終業時ではないが、翌朝や気づいた時点で振り返りを行っている。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	1	ケア記録に個別目標に対しての日々の評価も含め、詳しく記入している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5	2		6ヶ月に一度のモニタリング を行い、ケース会議で、計 画の見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6	1		様々な活動を通して組み合 わされている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	2	1	可能な限り参加し、事前に スタッフから聞き取りを行っ たうえで児発管が参加して いる。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	6	1		それぞれの園や学校に合 わせた対応が細かく決めら れている。お迎え時などに 様子を確認するよう心がけ ている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	3	3			現在医療的ケアが必要なお子様の 利用がない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1		今年は初めて進学児童が出るため、 事前の情報共有をしていこうと思 います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	4	2			対象児童がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	1	1		現段階では連携がとれていないた め、今後関わりを持っていけるよう検 討したいと思います。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	2	3	訪問等はないが、公園や外 活動時などで関わりが持て るよう支援している。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	3	2	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7			ケア記録内での報告、送迎 時などに情報共有を行って いる。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	5		1	適宜、連絡を取り合い、助 言等を行っている。	
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8			契約締結時に、説明してい る。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			気軽にご相談いただけるよ うな雰囲気づくりを行って おり、適宜助言等を行って いる。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5	2			イベント時に交流できる場を設けた が、子どもが楽しむ場となってい たため、定期的に保護者会を開催 できるように検討している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				責任者や窓口を設けているが、苦情が出たことがないため、現在の状況を続けられるように努める。万が一、苦情が出た場合には迅速に対応することを心がける。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2			行事予定はお知らせしていたが活動概要等は発信していなかったため、次年度よりシステム内にてお知らせしていきます。
	③⑤	個人情報に十分注意している	8			入社時のオリエンテーションや定期的な研修にて取り扱いについての説明がある。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			システム内でのメッセージ、送迎時の申し送り、電話等状況や内容により伝達方法を考え対応している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2	関係機関や医療、保育分野の方々にご来所いただいた。	
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアルを策定の上定期的な研修を実施している。	保護者へマニュアルの公開は行っていなかったが、今後は検討をしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		年2回訓練を実施。実際に避難場所までの経路確認を行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的に研修を行い意識を高めている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			保護者へは契約時に説明、同意をいただいている。個別支援計画にも記載し、説明、同意をいただいている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		1	保護者が確認をし、エビペン使用の研修なども実施している。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		専用ファイルを作成。いつでも閲覧できるようにしている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。